

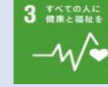
















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会福祉法人 天水福祉事業会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
																																										
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・法人(経営)理念を明文化し、法人のあるべき姿をいろいろな機会を通じ職員に説明し唱和するなどして浸透させている。・法人のあるべき姿の実現に向け、働き方改革機運が醸成されてきている。・経営目標(事業計画)を半期毎に評価し実践している。										8	9												17														
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の重要性を規定した就業規則を職場内に配置し常時閲覧できるように全職員向けに情報を発信している。・各種会議や研修等においても法令遵守の徹底を職員に呼びかけるなどし体制・仕組みを構築し根付かせている。																						16															
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・法人として関係する取引業者とは公正な取引に努めるよう幹部会議等を通じて、その重要性を職員に発信している。・総務部を設置して適正取引(複数人チェック)に努めている。・高額な工事については、競争入札を実施している。															10								16														
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・運営協議会を設置し、事業活動に関する情報を発信すると共に、地域社会や環境等に及ぼす影響等について意見をいただいている。・事業活動適正化のため内部牽制機能有効化のため内部監査人を配置している。・開かれた施設作りに取り組んでいる。																							16														
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・財産権等を侵害しないよう就業規則の中で規定し知的財産権を尊重する体制作りに努めている。・外部に情報発信する際のみならず内部で使用するに当たっては侵害しないように職員に呼びかけると共に、総務部又は幹部による文書審査等を行っている。											8.2 8.3		9																								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報管理の徹底(誓約書徹底、電子媒体管理徹底)を促す規定を就業規則の中に設けている。・必要な個人情報については報連相を徹底し処理している。・施錠のかかる部屋あるいはキャビネットで管理している。																							16														
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・利用者やその家族の意見等に耳を傾け業務の改善に繋げるため要望箱を設置し双方向の対話に努めている。・本法人の活動がステークホルダーに及ぼす影響を最小限とするため関係団体との連携に努めている。																					16	17															
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・関係団体との研修や会議を通して意見交換に努めると共に、復命を徹底し、幹部会議等を通じ職員への周知にも努めている。・美しい地球環境や人権侵害等への配慮など、問題意識の共有に努めている。・利用者又はその家族の意向を窺うと共に、情報提供や今後の支援の方向性について共に取り組んでいる。					5								8			10				12	13	14	15	16	17												
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・【予定】令和4年3月までにBCPを策定し、訓練を実施する。														9				11							16	17											
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・幹部会議指導の下、事業継続のための事業計画書を毎年作成し、実行、評価、見直し、実行(PDCA)を繰り返し対策を行っている。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。												8			9										17												
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1						2												5				8					12	13	14	15	16

労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●	・差別しない体制・運営を徹底すると共に差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。・各種会議等を通じて職員に周知するとともに差別や人権侵害がないことを確認している。・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。・管理職の意識改革と相談体制構築に努めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●	・労働安全衛生講習会に参加している。・相談対策窓口として産業医をメンバーとする安全衛生委員会を設置し安心して発言・行動できる職場環境づくりを行っている。・産業医によるメンタルヘルスケアや健康診断結果に対する助言、指導にも取り組んでいる。			3					8.8								
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●	・厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」を理解のうえ、就業規則を改正し、職員(正職員・指定職員・臨時職員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3						
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●	・絶えず、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組みを念頭に置き、残業時間の管理徹底や有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児(急病への対応)への積極的参画などの環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3						
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●	・外部研修の受講や各種資格の取得を奨励すると共に、参加費や資料代等必要経費の支給を行っている。・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育(幹部研修等)を実施している。・幹部研修や自主研も行い人材育成に努めている。				4	5.5			8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●	・毎日、朝礼又は昼礼時等に交通事故等への注意喚起や健康増進への取組みの促進を行っている。・健康診断の経費補助を行っている。・毎月、安全衛生委員会を開催し、職員及び家族の健康維持向上を呼び掛けている。			3					8								17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●	・本法人でも人材は多様化しており、人材育成や人事評価を適切に行うことで十分に活躍できる環境の整備や対策に努めている。・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。・応募があれば積極的に採用している。・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を令和4年3月までに策定する予定である。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●	・本法人が経営する職務は、時差出勤、在宅勤務(テレワーク等)に馴染まないが、国が定めた新しい生活様式への対応を徹底している。・会議や研修会については、リモートを推奨している。・感染症対策の規程として法人独自のレベル表を作成している。			3					8	9.1		11	12				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	・ICTを活用した業務改革に取り組み、電子法人構築を目指している。・職員へのPC配布(必要な部署)によりリモート研修等を推進している。								8	9.1		11	12				
21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●				3	4				8	9			12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理(処理業者に委託)に取り組んでいる。			3.9							11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルを設置し、事業所の節電に取り組んでいる。・LED照明に切替中である。 ・事業所集中デマンドにより省エネに取り組んでいる。													13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出している。・公用車(社用車)は、今後EV車化を目指し、CO2排出の抑制に取り組む予定である。 ※CO2総排出量 470t			2.4									12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・事業及び職員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用により削減に努めている。・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に努めている。															14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・再生用紙の利用を推進している。・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性保全に努めている。							9.4					12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・事業所内設備に節水器具を使用している。			2.4								11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・再生用紙利用を推進している。 ・廃棄することなく再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。							9.4					12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●	・給食利用人数把握を徹底している。・定期的に利用者の好みを把握(調査)した上での献立メニューを作成している。・残裁量を把握すると共に職員の意見等も献立に反映させている。		1	2										12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7			13.1 13.3	15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・太陽光パネルを設置し、事業所の節電に取り組んでいる。											9.4			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●	・熊本県産材の利用を推進している。											9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●													6.1 6.3 6.6			11.3 11.4 11.5	12.2	13	15
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	・プラスチックの使用削減や環境にやさしい素材の使用に取り組んでいる。															12.2 12.5		14	
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3			
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																			17.17

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	・適切な品質の管理(リスクと対策)を行っている。・賞味期限を遵守している。・製品安全確保を踏まえた食品表示ラベルは基準に沿って作成し、貼付している。・HPで顧客のコメント等に耳を傾け、関係者で共有、活用している。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	・製品やサービス及び施設等において、ユニバーサルデザインを考慮している。・高齢者や障がい者施設を経営しており、新築や改築の際は、段差解消等の改善を行った。									9.1	10	11.7								17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●							7						12.2	13.1			15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・職員に対し、居住する地域の活動に参画するよう奨励している。・地域事業者として、地域の防災活動(消防団)や活動(福祉祭り、学校行事、老人会活動等)に参画している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	・定期的に避難訓練を行っている。・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。・職員にハザードマップを周知している。・避難確保計画を策定し対策を進めている。				4							11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		1.5			3	4						10.2	11.5		13.1				16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●										9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●	・法人内でSDGsに関する活動(SDGs委員会)を実施し、役員へもSDGsへの意識が浸透している。・顧客、職員及び利用者の家族に対し、SDGsの普及啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●	・高校生や大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。					4				8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●	・地元の生徒、学生を積極的に雇用している。・ホームページを活用し、地域に根差した魅力ある職場づくりに取り組んでいる旨の情報発信に努めている。					4.4				8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。